

わたしの光のいえ”
ピース・ハウスふれんず”

September 2014

Issue Number 20



ごあいさつ	3
ピースハウス・ホスピスケア・プログラム	4
ピースハウスホスピスってどんなところ?	5
ホスピスケアを受けるために	10
プログラム利用状況	11
ホスピス教育研究所の活動	12
ピースハウスを支える活動	14



シンボルツリー：花水木

ごあいさつ

私はこれまで全国各地の小学校に出向いて「いのちの授業」を200回以上行ってきました。昨年6月には、東日本大震災による原子力発電所事故の被害を受けた福島県の飯館小学校、草野小学校、白石小学校の3つの小学校の合同仮設校舎でも「いのちの授業」を実施しましたし、7月には長期入院のために通学できない子どもたちのための東京都立墨東特別支援学校「つばさ訪問学級」でも授業をしました。「いのちの授業」は誰のいのちもかけがえのない、大切なものなのだということを子どもたちにしっかりとわかってほしいと思って、私が取り組んでいるものです。

ピースハウスの職員・ボランティアは、人のいのちがいちばんリアルな形で存在しているところで日々を送っていることになります。私は常々、シェイクスピアの戯曲『終わりよければすべてよし』を例にあげて、その人の人生のうちの99%が不幸であったとかあるいは不本意なものであったなどと思っても、残りの1%がやっぱり生まれてきてよかったという感謝と満たされた思いを実感することができれば、それは意味のある人生だと実感することができると話してきました。

ピースハウスは、これまで20年間をかけて中井町に根を下ろし、地域の方たちと交流を深め、信頼を築いてきました。私には開設時のさまざまなエピソードがまるで昨日のここのように思い出されますが、それから今日までの一つ一つの場面には、やはりそれなりの時間とスタッフの働きが積み重なっていることが実感されます。その結果の一つが、(公財)日本医療機能評価機構の認定施設、日本緩和医療学会認定研修施設としての認定ですが、その評価を得たものは、やはりピースハウスで働く職員とボランティアの心意気ではないかと思います。

ピースハウスの活動は本年から21年目に入りました。

開設20周年の催しの一つとして昨年10月に実施した「オープンハウス・ホスピス見学日和」には、350人もの方々がピースハウスとはどういうところか、ピースハウスでは何が行われているのかを見学に来られました。ピースハウスが地元にあってよかったと思われるように、ピースハウス病院、訪問看護ステーション中井、そしてピースハウスホスピス教育研究所が互いにうまく連携し、地域の方々に施設をひらき、利用される方々をしっかりサポートし、いのちの大切さを実感していただけるように尽くしていきたいと思っています。ピースクリニック中井についても一日も早く再開し、いのちの質、生活の質のより一層の充実を目指していきたいと思っています。

一般財団法人 ライフ・プランニング・センター
理事長 日野原 重明

ピースハウス・ホスピスケア・プログラム

ホスピス相談

ホスピスに関する質問や、在宅・外来・入院に関する相談窓口

通院によるホスピスケア

自宅で過ごししながら、病状緩和などのホスピスケアを通院で受ける

入院によるホスピスケア

症状緩和・ターミナルケアを目的とした入院
ご家族の休養のために、予め期間を決めての入院など

在宅ホスピスケア

訪問看護ステーションや地域の関係者との協力による24時間対応の在宅ケア

ビリーブメントケア

大切な方をなくしたご家族への支援

基本方針

私たちは、病いや老いとともに地域で暮らす人々が、自分たちらしく安心して過ごせるように、質の高いケアを提供します。

- 1) 病いや老いによる困難をかかえる人と、その家族をはじめその人にかかわる人々をケアの対象とします。
- 2) 各々が体験する心身の不快な症状の緩和と喪失や危機への対処ができて、望む場所で安心して暮らせるように、全人的ケアを提供します。
- 3) 多職種の職員・ボランティア・地域関係者がチームを構成し、互いに協力してケアを提供します。
- 4) 地域に根ざした全人的ケアのモデルとして、よりよいケアの実践・研究・教育を進めます。

21年目を迎えたピースハウスは変化の時にいます。これまで積み上げて来たケアや地域との連帯といった知恵や経験を、目前に迫っている多死時代に向けてどのように共有して行くかが大きなテーマでしょう。

がんだけでなく老いや病による困難をかかえる人やその人にかかわる人々をこの地域で支えるために、何がピースハウスに望まれているのかしっかりと見据え、具体的な行動を急ぐ必要があると思っています。ちいさなホスピスだけでできることは僅かですが、互いに分かち合うことでその経験や知識・技術は限りなく広がって行きます。ピースハウスは県西部の3つのブロック（平塚、秦野・伊勢原・足柄上、小田原）の要に位置しています、天の配剤でしょう。その地の利を生かし県西部のさまざまな施設やケアにあたるスタッフと、それぞれの役割を分担しながら全体として支えを太く大きくして行きたいと思えます。

緩和ケアは驚くほど普及しました。しかしその一方で緩和ケアの普及は、ややもすると死を見つめることから目を背けさせることがあります。ホスピスの専門性を「生と死を見つめ、苦痛に寄り添い、死にゆく人の生活をどう支えるかである」というところに置きながら、「いかに生きるかという人生そのものの在り方を」を互いに率直に話し合えるようになることが必要ではないでしょうか、「いい人生だった」と言えるために。死を想うことは、よく生きることにすると。

ピースハウス病院 院長 齋藤 英一

ピースハウスホスピスってどんなところ？

ピースハウス病院は、ホスピス緩和ケアを専門に提供する施設として1993年に開院し、20年あまりが過ぎました。多くの方々のご協力をいただき、今日まで活動を進めてくることができました。

一方、「ホスピスってどんなところ」「どんな人が働いているの」「何をしてくれるの」といった質問を受けることが多く、まだまだ基本的な情報を皆様にお届けできていないことを実感しております。ここで働くメンバーを紹介しながら、最近のピースハウスにおける活動、ホスピスケアの実際についてご紹介します。

どういう人が入院するの？



ピースハウスの中庭

まずは地域連携室にご相談下さい

「ホスピスは末期の人が入院するところ」という印象が強いと思います。確かに、病気を治すための治療の効果が難しく病気が進行したときに入院する方が多いです。しかし、痛みなど、さまざまなつらい症状があるとき、在宅療養中でご家族が疲れたときなど、一時入院し、退院することも可能です。早めに「地域連携室」にお電話下さい。専門の相談員が病気の経過、患者さん・ご家族の希望を伺いながら、これからどのように過ごしていくのか一緒に考えていきます。



ソーシャルワーカーに相談

医療費は？

保険証が使えます

病院で治療を受けるとき、検査や薬の内容によって医療費が決まり、ご自身の持っている保険証によって自己負担額が請求されますね。ホスピスの医療費は一定額に決まっており一般病院と同様に保険証を使うことができます。医療費や関連する社会制度など、ソーシャルワーカーが相談にのります。

どんな医療を受けられるの？



医師の診察

質の高い緩和ケアの提供を目指しています

がんを治すための手術や放射線療法は行っていませんが、痛み、吐気、呼吸困難など、さまざまなつらい症状を和らげるために、専門的な医療を提供しています。医師・看護師・薬剤師、それぞれの立場から意見を出し合い、患者さん、ご家族と共に最善の方法を探します。体が楽になることで、日常生活も豊かになっていくでしょう。

食欲がないときは？



特製スープを作るボランティア

食べることの楽しさを支える

病気が進むと食欲も落ちてきますが、栄養士と調理スタッフが、いかに口から美味しく食べられるか、食事の形状や味付けなどいろいろと工夫をしています。食べるのが難しくなった患者さんのために、特製スープも準備しています。

面会のご家族やご友人と談笑しながらボランティア手作りのケーキとお茶をいただく。3時のおやつが一番の楽しみという方もおられます。

ピースハウスでの生活は？



ベッドメイキング

気持ちよく過ごすことができるように

患者さんの負担を最小限にと工夫しながら何日ぶりかのお風呂を介助する看護師と看護助手。美容室では髪をカットしている美容ボランティア。患者さんがお部屋を空けている間にハウスキーパーが手際よくお掃除を済ませ、ボランティアが季節のお花を届けます。

病気をもちながらも気持ちよく過ごしたい。清潔にしていきたいという思いを大切にしています。

家族の面会や宿泊は？



事務受付

病院の窓口として

大切な方が病気で入院をしているとき、ご家族の不安や心配はとても大きいことでしょう。ご家族のご都合に合わせていつでも面会ができます。病院に宿泊することも可能です。宿泊や食事の予約、面会の際のシャトルバスの利用法、各種手続きに関するご質問など、事務にお気軽にご相談下さい。

心がつらくなったときは？



良い聴き手として

チャプレンとのひととき

これから先のことを思うと不安で眠れない。自分の人生に意味はあったのかと思うこともある。そんな時、誰かに話すことで気持ちが楽になることがあります。患者さんの声に耳を傾けることは、ホスピススタッフの重要な役割です。病気のことだけでなく、人生について、生きる意味について、チャプレン（牧師）は、良い聴き手として、患者さんの傍らで耳を傾けています。

時には、言葉で表現することが難しいこともあるかもしれません。そんなときは、好きな音楽に耳を傾け、音楽療法士と一緒に懐かしい歌を口ずさむことで慰められることもあるかもしれません。



からだが楽になったら

自分のやりたいことを

からだや心のつらさが和らぎ、生活のリズムを取り戻すと、自分のやりたいことに気持ちが向くかもしれません。ご家族と一緒に庭の散歩、何年ぶりに絵や書に、また、俳句に挑戦してみようか。今度の週末は外泊をしてみようか。できれば家族と一緒に旅行をしてみたい。いろいろな可能性が膨らみます。患者さんにご家族の日常生活が豊かになるようにチームで支援をしていきます。

看護師と庭を散歩する

家に帰ることができるの？



在宅ケアを支えます

医師とケアマネジャーの訪問

ホスピスに入院しても、ご本人、ご家族が望むときには、訪問看護ステーションと協力して家での療養ができるよう支援します。地域の医師や看護師、福祉サービスとの連携を取り退院に向けた調整もします。一度退院しても、再入院することは可能です。患者さんご家族が望む場所で療養できるよう支援していくことが私たちの役割です。

大切な人をなくしたあとは



家族の会ハイキング

分かち合える仲間

家族や友人、大切な人を亡くすことはとてもつらい体験ですね。心やからだがつらいときお電話での相談を受けることもあります。また、ピースハウスで大切な方を見送られた方々が、自主的に運営する「家族の会」があります。機関紙や親睦会で体験を分かち合い、ミニコンサートを一緒に楽しみ、時には、野外ハイキングに出かけます。同じ体験をしたもの同士だからこそ分かち合えることも多いでしょう。

ホスピスケアを受けるために

ピースハウス病院は、主に治癒が困難ながんの患者さんとご家族に、ホスピス緩和ケアを提供する病院です。入院によるケアだけでなく、外来診療、また、訪問看護ステーションと協力して、在宅ホスピスケアも行なっています。

ケア開始にあたり、ホスピス緩和ケアについてご理解頂くことと、患者さんの現在のご様子について事前に把握させて頂くため、患者さんやご家族と面談の機会を設けております。

相談の窓口

ピースハウス病院では、下記の相談についての相談窓口を設けています。

1. 入院に関する相談
2. 外来や訪問診療に関する相談
3. ホスピスに関する一般的な相談など

これらの相談窓口は、ソーシャルワーカーや看護師が担当しております。また、ホスピス相談には予約が必要ですので、まずは、電話でご連絡下さい。電話 0465-81-8900 (代)

相談に必要な医療情報

相談に来院して頂く際には、以下の4点の医療情報が必要です。

1. 診療情報提供書 (各医療機関の用紙)
2. 最近の検査データ (血液・尿検査・感染症・血液型を含む)
3. 現在の症状が判るレントゲンやCTなどの画像情報
4. ホスピスケア判定用質問用紙 (当院様式)

入院までの流れ

相談からケア開始までの流れは以下の通りです。

1. 電話による相談 (ホスピス相談の予約)
電話 0465-81-8900 (代)



2. ホスピス相談



3. ホスピスケア判定会議
(当院スタッフがケアの開始に必要な事柄について検討)



4. ホスピスケアの開始
(入院に関しては、判定会議からケア開始までベッドを待って頂く期間が生じる場合があります)

なお、ピースハウス病院では、病名告知は必須条件ではありません。患者さんが治癒困難である病状であることを認識し、ホスピスの趣旨を理解されていれば、ピースハウスでのケアを受けることができます。

入院費用

医療費に関しては健康保険が適用されます。患者さんによって、高額療養費制度や高齢者医療制度が利用できます。また、保険適用外として、差額ベッド代があります。(4人部屋は差額ベッド代なし)

当院に関する情報はインターネットでもご覧頂けます。<http://www.peacehouse.jp/>

各事業所概要

◆ピースハウス病院◆

〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1
電話 0465-81-8900 FAX 0465-81-5520
<http://www.peacehouse.jp/>

病床数：21床
スタッフ：専任医師3名、看護師27名、看護助手5名、
薬剤師2名、MSW2名、チャプレン1名、音楽療法士1名、
管理栄養士1名、キッチンスタッフ7名、事務員4名、
ハウスキーパー7名、ボランティアコーディネーター1名、
ボランティア86名

◆訪問看護ステーション中井◆

〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1
電話 0465-80-3980 FAX 0465-80-3979
<http://www5a.biglobe.ne.jp/stnakai/>

業務時間：月～金 9:00～17:00

緊急時24時間対応

スタッフ：看護師6名、事務員1名

◆ピースハウスホスピス教育研究所◆

〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1
電話 0465-81-8904 FAX 0465-81-5521
<http://www7.airnet.ne.jp/peace-h/>

業務時間：月～金 9:00～17:40

スタッフ：5名

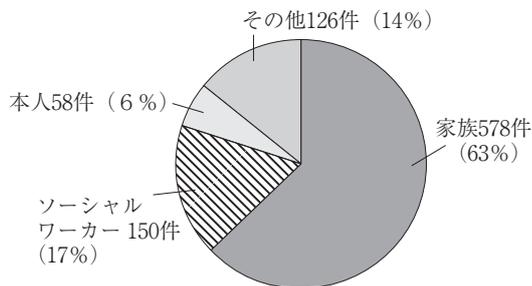
◆ピースクリニック中井◆

2013年4月より一時休診中

プログラム利用状況 (2013年4月～2014年3月)

2013年度の相談状況

相談件数：912件



ピースハウス病院 入退院状況

- 入院患者数 294名 (延べ302名)
- 男女別 男165名 女129名
- 年齢 平均74.04歳
- 平均在院日数 20.9日
- 疾患 (悪性新生物原発部位)

肺	73	肝・胆道	17	腎・尿管	5
膵	30	結腸	15	膀胱	4
胃	28	乳房	12	脳	3
直腸	23	食道	9	リンパ	2
前立腺	21	子宮	9	原発不明	7
咽喉頭	20	卵巣	8	その他	8

(6) 紹介元医療機関

東海大学医学部附属病院	51
小田原市立病院	29
東海大学医学部附属大磯病院	29
平塚市民病院	27
平塚共済病院	24
神奈川病院	16
秦野赤十字病院	11
神奈川県立足柄上病院	7
東名厚木病院	6
神奈川県立がんセンター	5

〈以下4件〉

済生会平塚病院・山近記念総合病院・大内病院・北里大学病院 (順不同)

〈以下3件〉

伊勢原協同病院・国際医療福祉大学熱海病院・藤沢市民病院 (順不同)

〈その他7施設 各2件・50施設 各1件〉

(7) 患者住所分布

神奈川県	275	東京都	11	その他	8
------	-----	-----	----	-----	---

(8) 神奈川県の内訳

	湘南西部	県西部	その他
秦野市	32	小田原市	45
平塚市	60	足柄上郡	16
中郡	30	南足柄市	10
伊勢原市	15	足柄下郡	9

訪問看護ステーション中井 訪問看護実績

- 利用者数 76名
- 男女別 男34名 女42名
- 年齢 40歳代～90歳代 中央値81.5歳
- 介護度

	(名)	(%)
要介護3以下	37	49
要介護4	15	20
要介護5	19	25
介護保険対象外	5	6

(5) 対象主疾患

	(名)	(%)
がん	19	25
非がん	57	75

(6) 転帰

	(名)	(%)
訪問継続	52	68
訪問終了	24	32

終了理由	(名)	(%)
ピースハウス病院入院	2	
他院入院	7	
入所	2	
自宅で死亡	7	
その他	6	

(7) 主治医

	(名)
ピースハウス病院	1
在宅療養支援診療所	28
その他開業医	23
総合病院	31

(利用者が主治医を変更していくことがあり、それをすべて含む)

(8) 訪問地域

中井町・二宮町全域
秦野市・小田原市・平塚市・大磯町・大井町の一部

2013年度ホスピス教育研究所の活動

ピースハウスの2階に位置するホスピス教育研究所は、神奈川県をはじめ全国に向けてのホスピス緩和ケアに関する教育プログラムの提供、院内スタッフ・ボランティアの教育、さらに、国内外の他施設・団体とのネットワーク作りなどを主な業務としています。

また、「日本ホスピス緩和ケア協会」事務局として、年次大会・理事会・専門委員会の開催、全国の緩和ケアの現状調査、講演会の開催、機関紙の発行などを並行して行っています。

ホスピス教育研究所 所長 松島 たつ子

1. ターミナルケア人材育成講座の開催

講座名	期日	日数	講師(所属)	参加人数
ホスピス緩和ケア講座	2013年6月～7月	4	竹内文一(小田原市立病院心身医療科部長)他8名	延147
ホスピスセミナー いのちの尊厳とホスピス —一人ひとりの生と死に向き合う—	2013年9月	1	山崎章郎(ケアタウン小平クリニック院長)	84
ホスピスセミナー 終末期における家族看護 —家族とのかかわりが難しくなるとき—	2013年11月	1	柳原清子(東海大学大学院健康科学研究科家族看護学教授)	51
ホスピスセミナー がん患者の痛みの理解とそのマネジメント —全人的ケアの視点から—	2014年2月	1	林章敏(聖路加国際病院緩和ケア科部長)	28
ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム	2013年7月、10月 2014年3月	6	湯山邦子(湘南中央病院緩和ケア内科看護課長)他7名	72
春期ボランティア講座	2013年5月～7月	6	齋藤英一(ピースハウス病院院長)他7名	8
秋期ボランティア講座	2013年9月～2014年1月	6	志村靖雄(ボランティアコーディネーター)他7名	10
ボランティアアドバンス講座	2013年4月～2014年3月	5	清水直子(ピースハウス病院看護師)他4名	延185

2. 第21回ホスピス国際ワークショップの開催

開催日：2014年2月8日(土)・9日(日)

開催場所：ピースハウスホスピス教育研究所

テーマ：意思決定の過程を支援する—倫理的課題に気づき、いかにコミュニケーションをとるのか—

講師

- ① Dr. Cynda Hylton Rushton
ジョンズ・ホプキンス大学看護学部教授
- ② Dr. Anthony Lee Back
ワシントン大学 医学部腫瘍学部教授
- ③ 木澤 義之
神戸大学大学院医学研究科先端緩和医療学特命教授

内容：

- 第1日目
 - ・わが国における意思決定支援
 - ・James Rest の倫理分析の枠組み
 - ・事例を通して考える
 - ・慈愛の心の実践
 - 第2日目
 - ・効果的なコミュニケーション：感情への対処
 - ・倫理的葛藤への対処（‘Rest’の枠組みを使って）
 - ・私のアドバンス・ケア・プランニング
 - ・日本の臨床現場でACPをいかに展開していくか
- 参加人数：98名

3. 研修生の受け入れ

- ①医師のためのホスピス緩和ケア研修（計9名）
平塚市民病院（6），秦野赤十字病院（1），順天堂大学医学部附属病院（1），日本赤十字社医療センター（1）
- ②看護師のためのホスピス研修（計4名）
神奈川県看護協会「緩和ケア認定看護師教育課程」
横浜新緑総合病院（1），新潟市民病院（1），湘南中央病院（1），横浜甕生病院（1）
- ③医学生のためのホスピス緩和ケア研修（2名）
東海大学医学部（2）
- ④看護大学生・大学院生のためのホスピス研修（計7名）
聖母大学（6），札幌市立大学大学院（1）
- ⑤ホスピス体験実習（計20名）
神奈川県立秦野曾屋高等学校（7），麻布学園麻布高校（6），ルーテル学院大学大学院（2），福島県立医科大学（1），昭和薬科大学（1），神奈川衛生学園専門学校（1），厚木看護専門学校教員（1），秦野西小学校教諭（1）

4. 研究会の開催

- ①事例検討会
期 間：2013年4月～2014年3月（10回）
主なテーマ
- ・ホスピス相談と入院調整の現状—患者・家族の希望に沿ったホスピスケアとは—
 - ・ホスピスと在宅との連携—患者・家族の意思を尊重した支援—
 - ・嚥下困難，意識障害があっても食事をたべさせたいご家族の意向にタイムリーに沿えなかった例
 - ・耐え難い痛みと呼吸苦を生じた患者家族への関わりについて
 - ・終末期患者の家族のケア—妻とのかかわりに困難を感じた事例—
 - ・脳転移のある患者のケア
 - ・患者家族の思いを支える地域医療連携
 - ・せん妄症状がある患者と家族への関わり
 - ・終末期患者・家族のそれぞれの思いを尊重したケア—互いを思いやるばかりに本音を言い出しにくかった患者・家族の事例—
- 延参加人数：220名

②ホスピスケア研究会

期 間：2013年5月～2014年3月（4回）

主なテーマ

- ・私らしく働く
- ・感情労働について考える
- ・バランスのある生き方とは
- ・尊厳ある死について考える

延参加人数：32名

③地域緩和ケア研究会

期 間：2013年4月～2014年1月（5回）

主なテーマ

- ・治療期の緩和ケアについて
- ・この地域にこんなホスピスが欲しい
- ・ALS患者家族の在宅療養を支える地域の和
- ・終末期で遭遇するスタッフのディレンマ
- ・認知症患者のケアの実際

延参加人数：202名

④高齢者ケア部会

期 間：2013年5月～2014年1月（4回）

主なテーマ

- ・認知症
- ・精神疾患を抱える利用者・家族への対応
- ・「看とり」など

延参加人数：88名

5. ホスピス公開セミナーの開催

期 間：2013年5月～2014年3月（8回）

対 象：ホスピスケアに関心を持つ個人、団体など

延参加人数：110名

6. ピースハウス見学への対応 24件135名

主な団体

国立がん研究センター，聖路加国際病院，東京労災病院，KKR 札幌斗南病院，いわき市立総合磐城協立病院，神奈川県立足柄上病院，平塚中郡薬剤師会，神奈川県看護協会，神奈川県医療社会事業協会，神奈川県医療福祉施設協同組合，プリンストン大学，慶應義塾大学看護医療学部，元米国エリザベスホスピス，新潮社出版企画部など

7. 機関誌発行

ピースハウス活動報告（ふれんず Issue No.19）

3,500部

ピースハウスを支える活動

◆ボランティアをする

あなたの大切な時間と能力を、より良いホスピスケアのために提供していただませんか。

ピースハウスでは約90名のボランティアがケアチームの一員として活動しています。ボランティアをする方は、毎年春と秋に開催されるボランティア養成講座を受講し修了証を手にしていただきます。

活動は、週1日（10：00～17：00）予め約束した曜日に無償で奉仕していただくことが原則です。

おもな活動内容

- 1) ホスピスにおける患者・家族のくらしを支える活動
環境整備・看護補助・アートプログラム開催・ティーサービスなど
- 2) 専門的にかかわる特技ボランティア
シャトルバス運転・マッサージ・美容・園芸・営繕・セラピー犬など



◆院外から支援する

あなたのあなたらしい方法でご支援いただけると幸いです。

ボランティアとして直接チームケアにはかかわれないが、外部から間接的に支援してくださるグループまたは個人の活動があります。下記にいくつかご紹介します。



- * LPC ホスピスサポートチーム：会員の寄付金やイベント、書籍販売などの収益金でシャトルバスの購入や運行を支援
- * 府中はなみずき：手作りの介護用品や備品を提供
- * 姫由美子コンサート：チャリティコンサートを開催、収益を寄付

その他、ふれんずショップ（ボランティアショップ）への手作り品の提供、介護用古布の提供、イベントへの参加など、数え切れないほどの善意の方々やグループからご支援を頂いています。

◆お金を寄付する

あなたのお金が日本のホスピスケアのモデルとなるピースハウスの活動を実現します。

これまで多くの皆様のご支援により、1993年、ピースハウス病院とホスピス教育研究所を開設し、1999年に訪問看護ステーション中井、2010年にはピースクリニック中井を開設することができました。病気を持ちながらも自分らしく生きる患者さんとそのご家族が、希望する場所で、質の高いケアを継続的に受ける。このような活動をさらに充実させていくためには、皆様方のお力添えが必要です。あたたかいご協力をお待ちしています。

1. 寄付の種類

1) 運営のための寄付

時期や金額を特定せず、ご支援いただく方法です。質の高いホスピス緩和ケアの提供を目指すピースハウスの運営を継続するために、ご協力をお願い申し上げます。

2) 「ピースハウス友の会」

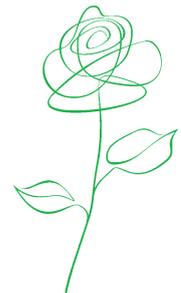
ピースハウスの活動に賛同し、「友の会」の会員となり、年会費という形でご支援いただく方法です。会員としては次の4種類があります。

ピースハウスの活動を推進するために継続的なご支援をお願い申し上げます。

さくら会員	1万円
ばら会員	3万円
はなみずき会員	5万円
かとれあ会員	10万円以上

*会員の種別は毎年ご自由にお選びいただけます。

*年1回、ピースハウス病院の活動報告(本誌)をお送りするとともに、会員継続のご意向についてお伺いいたします。



2. 寄付の方法

ご支援いただける場合は、下記までお振込みください。お手数ですが、振込みに際しましては、通信欄に「運営のための寄付」か「〇〇会員」かをご記入ください。

[振込先]	郵便振替口座 00130-6-407939 加入者名 (財)ライフ・プランニング・センター ピースハウス募金口
-------	---

ピースハウスを支える活動については下記にお問い合わせ下さい。

TEL: 0465-81-8900 FAX: 0465-81-5520

E-mail: ph_voco@yahoo.co.jp

担当: ボランティアコーディネーター 志村 靖雄

2013年度収支報告

2013年度の入院患者は302名、1日当たり平均在院患者数は17.2人、平均ベッド稼働率は78.3%といずれも前年度比大幅増加しました。

事業収入	373,013 千円
事業支出	368,084
事業収支	4,929
経常外収支	▲5,174
会費・寄附金収入	12,645
当期収支	12,400 千円

寄付報告

運営のためのご寄付	79件	10,175 千円
友の会会費	131件	2,470 千円
さくら会員	100件	1,000 千円
ばら会員	19件	570 千円
はなみずき会員	6件	300 千円
かとれあ会員	6件	600 千円
合計	210件	12,645 千円



一般財団法人
ライフ・プランニング・センター
ピースハウスホスピス

〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1
TEL 0465-81-8900 FAX 0465-81-5520
ホームページ <http://www.peacehouse.jp/>